

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-4-029
補助事業名 平成24年度（復興支援）被災者に対する生活支援活動補助事業
補助事業者名 立教大学東日本大震災復興支援室

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

陸前高田市立保育所が毎年発行してきた「修了記念集」の復刻版を作成し、希望者に配布する。「修了記念文集」には、一人一人の写真や行事の集合写真、あるいは、本人や保護者による手書きの文など残されており、思い出と共に存在の証明を届けることができる。

流失を免れた個人所有の「修了記念集」を収集し、写しを取ることで「修了記念文集」の復刻版を作成し、全てを流失してしまった修了者、保護者、家族、職員に思い出と記念を届ける。また、収集した「修了記念文集」により、各保育所の各年度の修了生氏名が判明し、修了生名簿を作成することができるようになる。

陸前高田市立高田保育所、長部保育所の「修了記念集」を各20年・19年分収集し、復刻版を印刷発行する。また、修了生名簿を再度作り直すために、退職した職員等に聴き取り調査を行う。これにより、修了生・保護者・関係者の心のケアに繋がる。

(2) 実施内容

当初の計画の高田保育所・長部保育所のみならず、地域が全滅してしまった今泉保育所、地域の半数程度が流失した小友保育所での記念文集も収集することができ、復刻版を印刷することができた。各保育所の印刷部数は別紙にまとめてある。

高田保育所は職員・子どもは助かったものの、建物も流失、非常持ち出しも出来ず修了生名簿を含み全ての資料を失ってしまった。「修了記念集」を1991年から毎年発行してきた。(20年分)

今泉保育所は流失、地区も1戸を残し流失・全壊という甚大な被害を受けた。平成17年に新築された際に記念文集が発行され、49年前からの修了式の集合写真が1冊にまとめて掲載されていた。奇跡的に瓦礫の中から発見された1冊を原本として復刻するつもりであったが、担当した印刷屋さんが、市外に転出していた知り合いを探し、綺麗な文集を見つけて下さり、ほとんど元通りに復刻することができた。

この他長部(おさべ)保育所では、保育所は被害に遭わなかったが、地区の大部分が被害に遭った。1992年から修了文集を発行していた。(19年分)

さらに小友(おとも)保育所も被災していないが、地区の半数程度が被害を受けている。ここも1991年から修了文集を発行していた。(19年分)

復刻印刷した修了文集について、今泉保育所記念文集(500冊印刷)については、今泉

地区住民は市内仮設住宅にばらばらに入居しているが、自治会長・事務局長の理解により、自治会が地区住民に一人一人手渡しして下さった。また、市外・県外に避難した人には郵送して下さった。

高田・小友・長部保育所の復刻した記念文集（印刷部数は下記に記載）については、市広報（平成25年2月号）にて市民に周知した上で、各保育所を通じて希望者に無料で配布することになった。これは、保育所所長さんをはじめ職員の方が、修了生や保護者に直接会って渡したいという希望からである。さらに、今後は市内仮設住宅自治会に依頼して、仮設住宅住民に復刻版の完成と無料配布についてチラシを配布することで周知していきたい。

2 予想される事業実施効果

今泉地区の方々、伊達政宗や江戸幕府の直轄領として900年近くこの地方の中心であったという誇りを持ってこられた。しかし、604戸中597戸流失、6戸全壊で地区そのものが無くなってしまい、市内各地の仮設住宅にばらばらに入居されている。こうした中、地区自治会長と事務局長はこの50年近い集合写真が掲載されている記念文集を地区の人たちに直接届けて下さった。住む場所もばらばらになり、元の街が戻る可能性の無い中で、自治会が機能し続け住民同士の結びつきを保とうとしている。

親族や家を亡くただけでなく、写真も手紙も全て失われ、その人を思い出す品が無い中で、この保育所時代の写真や母からの手紙は、記念として残るだけで無く、貴重なその人の存在の証明ともなる。一人一人の心のケア・復興に繋がると考えられる。

写真や記念の品を求めている方は多く、様々な資料の収集や復刻が企画されていくと考える。今回は、市内市立保育所4カ所であったが、私立保育所もあり、同様な希望が出て来ると予想される。

3 本事業により作成した印刷物等

- ・今泉保育所のあゆみ（S33年からH17年まで掲載：37頁） 500冊
 - ・高田保育所 1992年度から2009年度まで（1993, 94, 95年度を除く）15年分：計900冊
 - ・長部保育所 1992年度から2010年度まで（2008年度を除く） 18年分：計210冊
 - ・小友保育所 1991年度から2010年度まで（2007年度を除く） 18年分：計185冊
- 合計 51年分 1,995冊

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 立教大学コミュニティ福祉学部 東日本大震災復興支援室

住 所： 〒352-8558

埼玉県新座市北野1-2-26

代 表 者： コミュニティ福祉学部福祉学科教授 森本佳樹（モリモトヨシキ）

担当部署： 東日本大震災復興支援室（ヒガシニホンダイシンサイフッコウシエンシツ）

電話番号： 048—471—6967

F A X： 048—471—6967

E - m a i l： comisapo@rikkyo.ac.jp

U R L： <http://www2.rikkyo.ac.jp/web/csc/rikuzentakata.html>



